

第三者の行為によってけがをしたときに健康保険を使用する場合は**協会けんぽへの連絡・届出が必要です**

交通事故や暴力行為（ケンカ）等、相手（第三者）の行為によりけがをした場合に、健康保険を使用して医療機関等を受診するときは、「**第三者の行為による傷病届**」を協会けんぽにご提出いただく必要があります。すぐに提出ができない場合には、取り急ぎ事故等の状況をお電話等でお知らせいただき、後日書類の提出をお願いいたします。

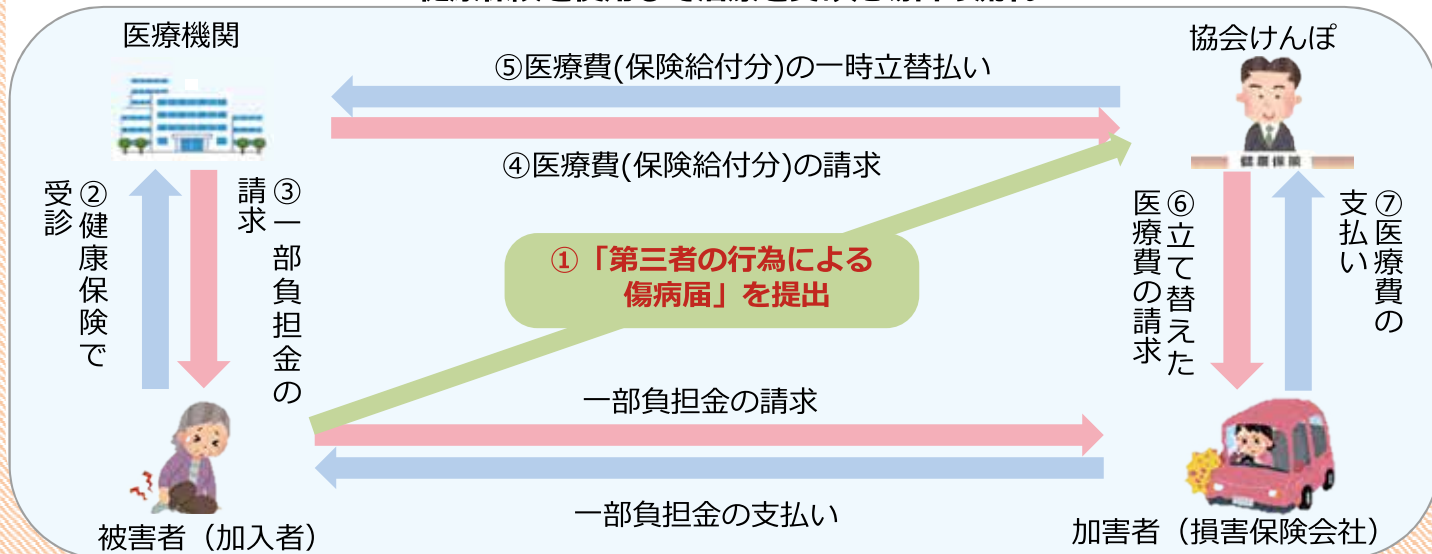
※工作中または通勤途中のけがの場合、原則、健康保険を使用することができません。管轄の労働基準監督署へご相談ください。

なぜ、「第三者の行為による傷病届」が必要なの？

第三者の行為によりけがをしたときの治療費は、本来、加害者が負担するのが原則です。

業務上や通勤災害によるものでなければ、健康保険を使って治療を受けることができますが、この場合、加害者が支払うべき治療費を健康保険が立て替えて支払うことになります。

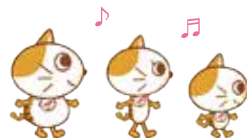
そこで、協会けんぽが後日、加害者に対して保険給付した費用を請求する際に「**第三者の行為による傷病届**」が必要になります。

健康保険を使用して治療を受けた場合の流れ**令和6年度 被扶養者資格再確認のご協力のお願い**

令和6年度につきましても、「被扶養者状況リスト」をお送りします。被扶養者資格をご確認いただき、リストのご提出をお願いいたします。

▶ 「被扶養者状況リスト」送付時期

令和6年10月上旬から10月下旬にかけて順次送付予定

提出期限**令和6年11月29日(金)**

協会けんぽ 2023（令和5）年度決算（見込み）のお知らせ

2023年度の決算（見込み）の概要

2023年度の決算は収入が11兆6,104億円、支出が11兆1,442億円、収支差は4,662億円で前年度から343億円の増加となりました。収入・支出の主な内訳は以下のとおりです。

【収入】

- 保険料収入は2,577億円増加。賃金の増加が主な要因。

【支出】

- 保険給付費は1,993億円増加。加入者1人当たり医療給付費が増加したことが主な要因。
- 高齢者医療への拠出金等は1,358億円増加。団塊の世代が後期高齢者になることにより拠出金額が増加したことが主な要因。

2023年度の収支は、収入・支出ともに前年度より増加しましたが、主たる収入である「保険料収入＋国庫補助等」は2,995億円増加した一方、主たる支出である「保険給付費＋拠出金等」は3,351億円増加しており、**支出の方が収入よりも伸びています。そのため、収支差は実質的には前年度より縮小していることに留意が必要です。**

その他の支出について、前年度に交付された国庫補助等の精算等による国への返還が生じなかったことにより、2023年度は前年度と比較して支出が683億円抑制されています。そのため、最終的には、収支差は、名目上、前年度より増加しています。

※ 詳しくは、協会けんぽのホームページをご覧ください。

■ 2023年度決算（見込み） | 医療分

（単位：億円）

収 入	保険料収入	102,998	(+2,577)
	国庫補助等	12,874	(+418)
	その他	233	(+16)
	計	116,104	(+3,011)

支 出	保険給付費	71,512	(+1,993)
	拠出金等	37,224	(+1,358)
	その他	2,705	(▲683)
	計	111,442	(+2,668)

単年度収支差	4,662	(+343)
--------	-------	--------

※（ ）内は、対前年度比

※ 支出の「その他」は右図の「健診・保健指導経費」「協会事務費」「その他の支出」の合計

保険給付費 64.2%

協会けんぽが医療機関に支払う費用や、傷病手当金等の支払いに要する費用

保険料収入 88.7%

被保険者・事業主の皆さまに納めていただいている保険料

支出

約11.1兆円

収入

約11.6兆円

高齢者医療への 拠出金等 33.4%

高齢者の皆さまの医療費の一部を現役世代が負担しています。

健診・保健指導経費 1.4%

協会事務費 0.6%

その他の支出 0.4%

国からの補助金 11.1%

その他の収入 0.2%

Q. 2023年度の決算は黒字額が増加しましたが、協会けんぽの財政は今後どのような見通しなのでしょうか？

A. 協会けんぽの財政は、以下の理由から楽観を許さない状況です。

- 団塊の世代が後期高齢者になることにより**高齢者医療への拠出金等の短期的な急増が見込まれ、その後も中長期的に高い負担額で推移することが見込まれること。**

※ 高齢者医療への拠出金等 2023年度：2兆1,900億円 → 2025年度：2兆5,300億円

- 協会けんぽ加入者の平均年齢上昇や医療の高度化等により**保険給付費の継続的な増加が見込まれること。**

※ 保険給付費 2023年度：7兆1,512億円 → 2028年度：7兆6,600億円

こうした状況を踏まえ、協会は、将来を見据えて、加入者の健康づくりに向けた取組を進めつつ、保険財政の持続可能性という観点から、各種医療費適正化対策にも取り組んでまいります。